

(様式3)

事業所名 グループホーム大門

## 目標達成計画

作成日: 令和 5 年 12 月 27 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	入居時に「重度化・看取りの指針」を説明し確認を行っているが、今まで施設での看取りの実績はない。利用者は、入居年数が経ち高齢になっておられるので、緊急時の対応や看取りの意向について、改めて家族の意向を確認する必要がある。	緊急時の対応及び看取り期のケアに対するご家族の意向を確認しながら、ご家族の意向に沿うためには、何が必要なのか具体的に検討できる。	①緊急時及び看取りに対する意向調査をする。②ご家族の意向を面談で具体的に伺う。③看取りに関する課題を整理する。④看取りに関する課題を解決するための具体的な計画(研修等)を立案し、実行する。	6ヶ月
2	54	各利用者が、自分の部屋であるという感覚をもてるように、好みのしつらえや、自宅で使っていた物を置くことで、居室の居心地が良くなるように工夫する必要がある。	一人ひとりの意向に沿って、その人が居心地が良いと感じる居室を目指して、ご家族と共に居室のしつらえを考えることができる。	①現在の居室のしつらえが、その人が居心地が良いと感じているか担当職員が調査し、希望を聞く。②ご本人の希望に沿って、居室のしつらえを変更する。③本人の希望が出ない場合は、家族と話をしてヒントを探す。④安全に配慮しながら、『自分らしいお部屋づくり』を進める。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。  
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成して下さい。